

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

アンケート実施期間：2023年12月

結果公表日：2024年3月29日

回答率

事業所職員： 5名回答、回答率 100%

保護者様： 17名回答、回答率 89%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・法令上の基準は満たしているものの、教室体制が一体化のため児童発達支援と放課後等デイサービスが重複する時間帯はそれぞれの職員数が限られてしまう為、配置の調整や工夫は必要である。
- ・児童発達支援と隣り合わせの部屋で支援を提供しており、時間帯によって隣の部屋の音が気になることがある
- ・毎日児童が入室する前に清掃、消毒を行っている

○業務改善

- ・教室内ミーティングを実施し各情報を職員全員で共有している
- ・事前に研修テーマを計画し、月に1回以上研修テーマに沿った教室内研修を行っている

○適切な支援の提供

- ・子どもと保護者のニーズや課題は面談を通して分析し、それを基に児童と接しながら指定のアセスメントをとり、個別支援計画に反映させている
- ・集団活動は毎月の療育テーマに沿って立案している
また、定期的に活動の主担当者を変えることで活動内容が固定化しないよう工夫をしている
- ・祝日、長期休暇はイベントを企画し、子どもの来室のモチベーションの維持を図っている
- ・勤務時間の都合上、当日中に職員全員で振り返りを行うことが難しい場面もあるが、翌日の業務前ミーティング等で振り返り、次回に向けた改善策を考察する機会を設けている

○関係機関や保護者との連携

- ・学校との直接的な連携は少ないが、各学校のHPや保護者を通じて学校行事や下校時間等の確認、調整を行っている

○保護者への説明責任等

- ・その日のフィードバックや連絡帳にて、様子だけでなく課題に対する取り組み姿勢や達成状況等についてもお伝えするように心がけている
- ・ニュースレターやイベントのお知らせに関するお便りを配付し、行事予定を随時発信している

○非常時等の対応

- ・毎月災害や不審者を想定した避難訓練を実施し、子どもと職員の動きを確認している
- ・食物アレルギーのある子どもを職員全員が把握し、おやつ提供時や調理活動時等に必ずダブルチェックを行い対応している

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・あまり活動中の様子を見たことないが、部屋の大きさからすると少し狭いのかなと感じる
- ・学校からの送迎もしてほしい等のご意見をいただいた。

○適切な支援の提供

- ・言葉にして伝えることが難しい子どもの困り事等もしっかり子どもをみてくださっているのだから伝えられなくても理解してくれていて、次の課題等を提案してくれる
- ・色々なイベントがあって子どもも楽しみに通っている等の保護者様から高い評価をいただいた。

○保護者への説明等

- ・保護者同士の交流をそれほど希望していないため、現状に不満点はない
- ・苦情を伝える場面がないほど、親子共に満足しているとのことのご意見がよせられた。

○非常時等の対応

- ・「非常時マニュアルの周知」「非常災害を想定した訓練の実施」に関する項目にて、8割の方から「周知されている」「実施されている」との回答をいただいた一方で、「どちらともいえない」との回答もあったため、全員に周知できるような工夫を検討する必要がある

○満足度

- ・親子共に大変充実した支援をいただきソリス南砂町に対して感謝しかない
- ・施設長はじめスタッフの皆さん全てがあたたかく専門的な支援を実施されていて、安心して通えるだけでなく父母にとっては子育てにおける心の支えになっている
- ・「支援に満足しているか」「児童は通所を楽しみにしているか」に関する項目にて、8割の方から「はい」との回答をいただき、満足度が高い傾向にあることがうかがえた

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・保護者様からの協力を得て、関係各所と随時連携が図れるような関係性を築き上げていく
- ・児童に対しての支援について、職員間で話し合いながら楽しく且つ適切な支援を行えるように教室でのミーティングにて話し合う
- ・教室内窓に飛散防止及び遮熱シートの取付、教室前階段の整備を行うことで安全管理を徹底する
- ・現状の満足度から更なる発展ができるように、今回のアンケート結果を踏まえ1年を通して改善できるようにしていく

○改善できた点・まだ残る課題

- ・保護者との連携を密にとり学校の様子等のお話しをお伺いするだけでなく、保護者を通じて学校公開への参加、学校の先生と面談をする機会を設けさせていただき、関係機関との直接的な連携に努め改善を図った
- ・教室内ミーティング等を毎日行い話し合いを重ね、職員全員で支援の質の向上を目指したことで満足度の維持に繋げることができた
- ・訓練室内の電気全てに飛散防止及び遮熱シートの取付を行い、教室前階段は夕方以降電気を忘れずに点灯させることで安全管理を徹底することを心掛けた

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・前年度、児童発達支援利用者が持ち上がり、放課後等デイサービスを利用いただいていることが多いため、保護者との関係性が築きやすくお話しする機会を設定しやすく、状況に応じた子どもの様子をすぐに共有し合い提案し、支援に繋げることができている
- ・活動、療育の担当者を定期的に変える、長期休暇や祝日に様々なイベントを企画することで活動の多様化に努めており、保護者からも評価をいただいている
- ・保護者の希望に応じて学校との連携にも努めた

○改善点

- ・今後の登録状況に応じて、毎年学校送迎や送迎範囲を検討する必要がある
- ・感染症対策の観点より保護者会の開催が難しかったが、制限が緩和されたことで療育参観や対面での保護者会を企画していく

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・保護者会の実施を企画し、保護者に向けた活動報告や非常時対応時の周知の機会を設けていく
- ・親子参加型のイベントを企画し、保護者の方にも日々の活動を体験していただくことで教室での取り組みの理解をより一層深めてもらう
- ・来年度も児童発達支援からの持ち上がりの利用者が放課後等デイサービスを利用する見込みがある為、児童発達支援から放課後等デイサービスへのスムーズな移行を目指す

○1年間で取り組む具体策

- ・年間1回保護者会実施を行う為に、保護者会や療育参観をどのようなかたちで実施するのが良いかの聞き取りを行い、なるべく要望に沿ったかたちで活動報告の場を設定する
- ・児童発達支援と放課後等デイサービスで密に情報共有を行い、児童発達支援でのアセスメント結果や効果的だった支援内容を引き継ぐことで、児童発達支援から放課後等デイサービスへスムーズな移行とニーズに合わせた支援に繋げていく